

(様式 7)

公共事業継続箇所評価調査

評価確定日(平成30年 9月28日)

事業コード	H30-建-継-12		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(交通安全)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	歩道設置事業		班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2488
路線名等	主要地方道 角館六郷線		担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	美郷町千屋第一		担当者名	副主幹(兼)班長 柳沢 悟
プランとの 関連	政策コード	03	政 策 名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略
	施策コード	03	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	日々の暮らしを支える生活道路の機能強化

1. 事業の概要

事業期間	H26～ H33(8年)	総事業費	5.8億円	国庫補助率	0.6545	
事業規模	延長 L=1,676m 幅員 W=5.5(10.5)m (2.5-1.25-2.75-1.25)					
事業の立案 に至る背景	<p>主要地方道角館六郷線は、大仙市鶯野から美郷町六郷を結ぶ県道である。大仙市および美郷町の生活道路として利用されるのはもとより、国道13号と国道105号を短絡する道路としても利用される重要な路線である。</p> <p>当該区間は通学路に指定され、地域の児童が利用するほか、町役場等の公共施設も多く歩行者・自転車利用者が多いが、幅員狭隘であり、歩道未設置区間となっていることから、交通事故が多発している。本事業は沿線のほ場整備事業における創設換地によって道路用地が確保されていることから、早期に整備を実施する必要がある。</p>					
事業目的	<p>○通学路における児童の安全確保</p> <p>○幅員の確保による車両通行の安全性向上</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	380,000	579,000	199,000		
	経費内訳	工事費	274,000	444,000	170,000	路床部の地盤改良、物価・労務費の上昇等による増
		用補費	96,000	93,000	△3,000	用地買収面積および買収価格算定の結果による減
		その他	10,000	42,000	32,000	精査により、用地測量面積が広がったこと等による増
	財源内訳	国庫補助	266,000	378,900	112,900	
		県債	102,600	180,000	77,400	
その他						
	一般財源	11,400	20,100	8,700		
事業内容	調査・設計 歩道工 舗装工	調査・設計 歩道工 舗装工			国庫補助率の変更による	
事業の進捗 状況	<p>○平成30年度末での事業進捗率見込み約45%</p> <p>○平成30年度末時点でL=240m供用予定(平成29年度までL=427m供用済)</p>					
事業推進上の 課題	特になし					
関連する計 画等	<p>○第10次秋田県交通安全計画</p> <p>○美郷町通学路交通安全プログラム</p> <p>○本堂城回地区ほ場整備事業(平成18年～平成30年)</p> <p>○バリアフリー社会の形成に関する基本計画(秋田県)※バリアフリー計画</p>					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	特になし					
事業効果把 握の手法及 び効果	指 標 名	歩道整備率				
	指 標 式	実績延長/道路延長				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	40.8%		データ等の出典	道路課調べ	
	実績値 b	39.4%		把握の時期	平成30年4月	
達成率 b/a	96.6%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○沿線地区には35名の小学生がおり、当該区間を通学路として利用している。 ○計画の終点部は歩道設置済みであるが、当該区間は未整備区間となっていることから整備により歩道の連続性を確保することが必要である。 ○当該区間は車道幅員(W=5.5m)が狭く堆雪帯幅も確保されていないことから、特に冬期においては道路利用者の安全な交通に支障をきたしている。 	20点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○「バリアフリー計画」において安全・安心な歩行者空間の確保が位置づけられており、歩道整備の推進が図られている。 ○当該区間は「本堂城回地区ほ場整備事業」における創設換地によって道路用地の一部が確保されている。 ○過去に事故が16件発生し、平成28年には歩行者の死亡事故が発生している。 ○「美郷町通学路交通安全プログラム」においても、対策必要箇所として位置付けられており、早急に歩道整備を実施する必要がある。 	30点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路の危険箇所が解消され、安全性の向上が期待される。 ○整備により、公共施設へのアクセス性の向上も図られる。 	15点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○現道拡幅事業のため、部分供用により早期の事業効果発現が可能。 (過年度にL=約400mを供用済み) 	10点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○地元町内会及び美郷町から要望書が提出されている（平成19年） ○ほ場整備推進協議会からも歩道設置の要望書が提出されている（平成19年） 	13点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	88点
	ランクⅠであり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を継続すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

4. 公共事業評価専門委員会意見

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 交通安全事業 (歩道)

事業コード (H30-建-継-12
箇所名 (美郷町千屋第一)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	12時間自動車交通量		4,000台/12h以上	10	10	・5,274台/12h
			1,000台/12h以上	5		
			1,000台/12h未満	0		
	歩行者交通量		100人/日以上	10	5	・学童・児童 35人
			100人/日未満	5		
			学童・園児 40人/日以上	10		
			学童・園児 40人/日未満	5		
	歩道の連続性		計画区間前後に歩道あり	10	5	計画区間の終点側歩道あり
			計画区間前後の一方に歩道あり	5		
			計画区間前後に歩道なし	0		
	計			30	20	
緊急性	関連事業の有無		あり	10	10	・ほ場整備事業
			なし	0		
	事故状況 (死傷事故)		歩行者の死傷事故あり	10	10	・16件発生 (H8~H29) うちH28歩行者事故あり
			車両単独もしくは相互の死傷事故あり	5		
			事故の発生なし	0		
交通安全総点検対策箇所等		該当あり	10	10	・美郷町通学路交通安全プログラム	
	該当なし	0				
	計			30	30	
有効性	交通安全指定道路		あり	5	5	・3号基準該当
			なし	0		
	通学路指定		あり	5	5	・千畑小学校 ・太田南小学校
			なし	0		
	公共施設 医療機関、公民館、図書館等		あり	5	5	・消防署等
	なし	0				
	計			15	15	
効率性	供用開始までの期日		3年以内に供用開始可能であり効果の出現が早い	10	10	・部分供用を図りながら事業を実施
			供用開始まで4年から5年の時間を要する	5		
			供用開始まで6年以上と相当時間を要する	0		
		計			10	10
熟度	地元の協力体制		事業に協力的	5	5	・反対者無し
			用地反対等の問題あり	0		
	地元住民・関係機関の意向		採択時と比べて特段の変化がない	5	5	・変化無し
			採択時と比べて低下が見られるが改善の見通しがある	3		
	進捗状況		採択時と比べて著しく低下し改善の目処が立たない	0	3	・事業進捗の遅れ
			進捗が順調で計画どおりの完成が見込まれる	5		
		多少の阻害要因があるが解決の見通しがある	3			
	阻害要因の難易度が高く進捗の目処が立たない	0				
	計			15	13	
合計				100	88	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		